

あの人気ライトノベル作家の最新作は、歴史小説！
「弾正の蜘蛛」

大人気ライトノベル作家が歴史小説に新境地を開く。
戦国一の大悪人と謳われた武将、松永弾正久秀の
新たな姿を描いた新作！

5/15に、富士見新時代小説文庫から発売された
レーベル初の歴史小説、「弾正の蜘蛛」！

本作を手がけたのは、アニメ化も果たした人気ライトノベル「鋼殻のレギオス」の作者、雨木シュウスケ。
本作では「雨木秀介」に改名して歴史小説に挑む。
装画には、大人気イラストレーターの「ワカマツカオリ」氏を起用！

一時は織田信長に臣従するも、後に叛意を明らかにし、
最後は信貴山城で自害（一説には自爆）した
乱世の梟雄、松永久秀を新解釈で描いた意欲作。

最期を遂げた信貴山城のある、現在の奈良県では
各書店全面協力のもと、大々的に展開をいただいたお陰もあり
発売一週間の現時点で売れ行きが大変好調です

歴史小説ファンはもちろんのこと、
若い読者にもおすすめの一冊です！

富士見新時代小説文庫
「弾正の蜘蛛」
雨木秀介
イラスト：ワカマツカオリ
2014年5月15日発売
定価：580円（税別）

【STORY】
謀略、裏切りの数々。戦国一の大悪人と呼ばれた男、松永弾正久秀

室町将軍・足利義輝を暗殺、織田信長に仕え後に離反。
乱世を謀略と裏切りで生き「戦国一の梟雄」と呼ばれた男、その想いとは――



イラスト：ワカマツカオリ